※令和３年度以前入学生用

学校番号	３００７

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	世界の歴史　改訂版（山川出版社）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・世界の歴史の流れを感じる。
・歴史を学習する上で必要な、「なぜ」「どうして」という疑問を持ち、理解しようと臨む。
・中学校で学んだ地理と歴史を踏まえて、世界の歴史とそのときの日本について考える。

２　学習の到達目標

・近現代史を中心に、世界の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付ける。
・現代の諸課題に着目して考察させることによって、歴史的思考力を培う。
・国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

３　学習評価（評価基準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：見方や考え方	c：技能	d：知識・理解
観点の趣旨	世界史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	世界史の展開から課題を見いだし、各国の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	世界史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	世界史の展開と生活・文化の地域的特色についての基本的事柄を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ノート 発問評価 真面目に取り組む姿勢をみる。	定期考査 ノート 発問評価 真面目に取り組む姿勢、演習への理解度をみる。	定期考査 ノート 真面目に取り組む姿勢、演習への理解度をみる。	定期考査 発問評価 真面目に取り組む姿勢をみる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価基準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	序章　人類のはじまり 第1章　世界の諸文明	①人類の出現と拡散，農耕・牧畜の開始と文明の誕生 ②東アジア世界 ③南アジア世界 ④東南アジア世界 ⑤西アジア世界 ⑥古代地中海世界 ⑦ヨーロッパ世界	○	○	○	○	ａ：日本の歴史と世界の歴史のつながり、同時代史 などについて意欲的に取り組もうとしている。南アジア、オリエント、地中海世界の歴史 、イスラーム世界の特徴と イスラームの成立とその文化の形成について、ヨーロッパの歴史を意欲的に追究しようとしている。 ｂ：これらの主題について、多面的・多角的に考察し、適切な方法を用いて表現している。 ｃ：様々な写真資料や絵画資料から、これらの 主題 についての情報を読み取り、考察する材料として活用している。 ｄ：これらの主題 についての経緯を理解し、その知識を身に付けている。	授業態度 発問評価 ノート提出 定期考査
	第2章　世界一体化の始まり	①１６世紀の世界と一体化の始まり ②明代のアジア ③清代のアジア ④サファヴィー朝とムガル朝 ⑤オスマン帝国 ⑥大航海とアメリカ征服 ⑦新しい時代の始まりとルネサンス	○	○	○	○	ａ：16世紀の世界にあっては、物質的な豊かさや高度な精神文化の中心は，繁栄するアジア諸国にあったという点に注目することができる。 ｂ・ｃ：ルネサンスと大航海時代が現代文明のはじまりであることを理解させる。 ｄ：16世紀の世界の情勢を把握する。	授業態度 発問評価 ノート提出 定期考査
2学期	第2章　世界一体化の始まり	⑧宗教改革 ⑨スペインの時代からオランダの時代へ ⑩絶対王政と議会王政 ⑪東ヨーロッパの専制 ⑫大西洋経済	○	○	○	○	ａ：産業革命がパラダイムの転換であることを正しく理解させる。 ｂ：宗教改革後のヨーロッパにおける宗派の分布を調べ、新旧両教の間の境界線をどこに引くことができるか、確認することができる。 ｃ：資料集や地図帳で場所と人物を正確に把握する。 ｄ：複雑な革命を国別、段階別に理解する。また、美術作品を通して革命の実態にふれる	授業態度 発問評価 ノート提出 定期考査

※令和３年度以前入学生用

	第３章　近代の世界	①啓蒙とアメリカ独立 ②フランス革命 ③ナポレオンとその帝国 ④イギリス産業革命 ⑤ウィーン体制と自由主義改革 ⑥１８４８年革命とイギリス・フランス ⑦クリミア戦争とオーストリア・ロシア ⑧イタリアの統一とドイツの統一 ⑨合衆国の発展とカナダ ⑩ラテンアメリカと世界資本主義 ⑪１９世紀の西アジア ⑫南アジア・東南アジアの植民地化 ⑬東アジアの開港と変動 ⑭東アジアの近代化の試み	○	○	○	○	ａ：欧州各国の情勢を、誰がどうしてという５Ｗ１Ｈから考えることができる。 ｂ:植民地化されたアジアの国々と、日本など植民地化されなかった国々とを対比して考えさせる。 ｃ：資料集で国境の変化と人物関係を正確に把握する。 ｄ：ヨーロッパの情勢がアジアに及ぶことを理解する。	授業態度 発問評価 ノート提出 定期考査
	第１章　現代の始まりと帝国主義	①資本主義社会の成熟 ②世界分割と一体化の進展 ③帝国主義と植民地での民衆の抵抗 ④日清・日露戦争と辛亥革命	○	○	○	○	ａ：大衆、消費、交通革命のキーワードで 19 世紀～20 世紀初頭の歴史をみていく。 ｂ：なぜ経済危機が二度目の世界大戦に繋がったのか、戦争と平和について経済の観点から考えさせる。 ｃ：インド、中国、トルコの近代化への取り組みについて、第一次世界大戦と関連づけて理解させる。 ｄ：戦争を起こさない国際的な枠組みを、国際連合とＥＵの設立経緯を通して理解する。	授業態度 発問評価 ノート提出 定期考査
３学期	第２章　二つの世界大戦	①第一次世界大戦 ②ロシア革命 ③世界恐慌 ④ファシズムの台頭 ⑤第二次世界大戦	○	○	○	○		
	第２章　平和と冷戦	①冷戦の始まり ②第三世界の出現	○	○	○	○		

※令和３年度以前入学生用

	第２章　現代世界と日本	①グローバル化とアメリカ ②冷戦の終結 ③多極化する世界	○	○	○	○		